

**エコアクション 21**

**株式会社 根城グリーン建設**

**環境経営レポート 令和 4 年度**

**2022 年 9 月～2023 年 8 月**

作成日 2023 年 11 月 22 日

## 目 次

1. 環境経営方針	P1
2. 組織概要	P2
3. EA21実施体制図	P3
4. 環境経営目標及び環境経営計画の策定	P4
5. 環境目標の実績	P5
6. 環境活動計画、取組結果の評価、次年度の取組内容	P6
7. (株)根城グリーン建設各活動の様子	P8
8. 代表者による全体評価	P11

# 環境経営方針

## ※基本理念※

私達、株式会社根城グリーン建設は日々深刻化し続ける環境問題が、自然や地域及び世代を超えた問題と捉え、地球環境と事業活動が密接な関わりにあることを理解し認識をしなければならない。

また、環境における継続的改善を経営活動の一つとし、全社員が地球環境を守るということを考え、持続可能な社会を実現するため、積極的に取り組んでまいります。

## 『環境保全への行動指針』

### 1. 地球環境への配慮とこれからの課題

※自然生態系への影響を考慮し、燃料及び電気などのエネルギー消費量の削減に努め、排気ガスや二酸化炭素の排出抑制に努めてまいります。

### 2. 環境負荷の低減への継続的改善への取組み

※環境への負荷の低減のため建設現場等において、周辺環境に与える影響への負担が少ない機械及び工法の選定・施工に取り組んでまいります。

### 3. 省資源・省エネルギーへの取組み

※建設工事、造園工事等においては、資源・エネルギーの有効性を深く認識し、建設廃棄物等の発生の抑制に努め、省エネルギー・省資源を促進してまいります。

### 4. 地球環境と事業活動との密接な関わり

※生命にとって必要不可欠な水や樹木の恵みを持続的に受けられるように、適正な水利用・排水管理を徹底します。また植栽や緑化にも力を入れてまいります。

### 5. 環境関連法規制等の厳守

※関係事項を明確にして法令の遵守のため、環境関連法規制等の確認を常に行い、全社員の認識も高めてまいります。

### 6. グリーン商品購入の促進

※購入する際に必要性をよく考え、価格や品質など以外に、環境負荷が小さいものを優先的に購入する「グリーン購入」を促進してまいります。

### 7. 環境汚染の予防対策

※化学物質混合材料の把握・管理に努め、環境汚染に繋がるものなのかを考え、できる限り健康への影響の少ないものを利用し推進してまいります。

### 8. 環境方針の一人ひとりへの周知

※環境方針は、全社員へ周知し一人ひとりが地球環境を守るという認識のもと、持続的に実現するため積極的に取り組んでまいります。

### 9. インターネットなどによる情報開示を通じて

※社会とのコミュニケーションを図るため、環境活動への取り組みの状況を取りまとめや情報開示をすることにより一人でも多く、環境問題に立ち向かえるよう支援していきたいと考えております。

### 10. 緑化のすばらしさを

※緑のすばらしさを実感していただくために、地域の方々とも協力しながら地域の緑化・植栽に努め、自然との共生と調和を大切にしております。

### 11. 働きやすい職場環境や地域ボランティア活動の推進

※働きやすい職場環境として有給休暇の取得を促進し、地域ボランティアとしてはちのへグリーンパートナーへの積極的な活動を推進していきます。

制定日 平成 29 年 9 月 1 日

改定日 令和 5 年 1 月 18 日

株式会社根城グリーン建設

代表取締役 山下 英夫

## 『対象組織の概要』

### 1: 名称及び代表者名

株式会社 根城グリーン建設  
代表取締役 山下 英夫

### 2: 所在地

本 社 青森県八戸市西白山台 6 丁目 9-21  
TEL 0178-27-6733 FAX 0178-27-6744

資材置き場 青森県八戸市大字田面木字鳥木沢 19 番 3

### 3: 環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者 総務取締役 山下 忠  
担当者 環境事務局 中道 秀樹

連絡先 青森県八戸市西白山台 6 丁目 9-21  
TEL 0178-27-6733 FAX 0178-27-6744

### 4: 事業活動の内容

青森県知事許可(特-4) 第 12415 号

- 土木工事業
- 建築工事業
- 管工事業
- 舗装工事業
- 塗装工事業
- 造園工事業
- 水道施設工事業

青森県知事許可(般-4) 第 12415 号

- 消防施設工事業
- とび・土工工事業

### 5: 事業規模 令和4年度

資本金	21 百万円
売上高	689 百万円
従業員	53 名
敷地面積	3109.75 m <sup>2</sup>
延べ床面積	208.67 m <sup>2</sup>
資材置き場	9236.36 m <sup>2</sup>

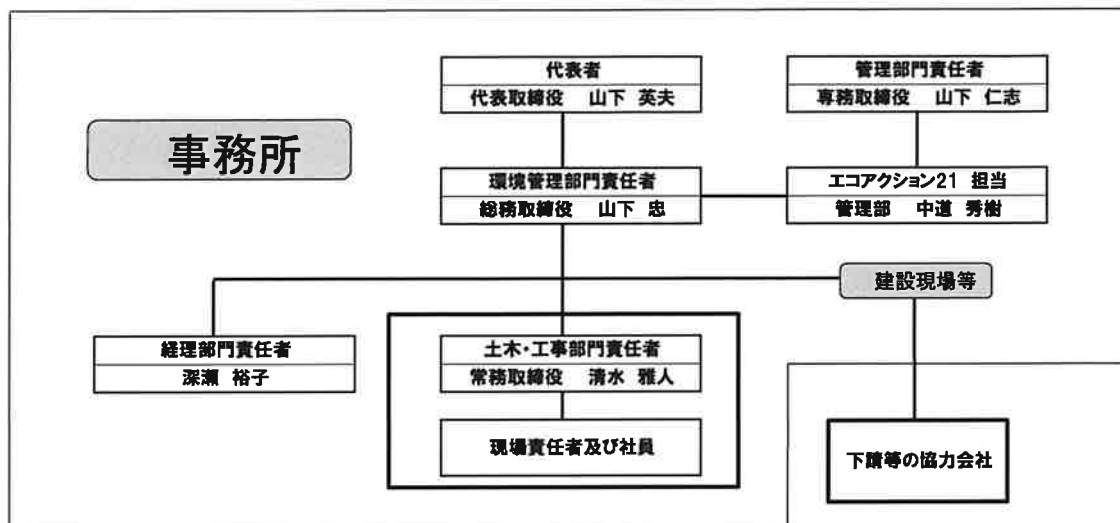
### 6: 事業年度 令和4年度 2022 年 9 月～2023 年 8 月

### 7: 登録組織(認証・登録範囲)

株式会社根城グリーン建設の全組織、全活動を対象範囲とします。

### 8: レポートの対象期間

環境活動レポートの対象期間は 2022 年 9 月から 2023 年 8 月迄の期間です。



環境経営システム 役割・責任・権限表

職名(氏名)	役割・責任・権限
代表者 社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営方針の策定。</li> <li>②環境経営に関する統括責任。</li> <li>③環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>④環境管理責任者の任命など実施体制の構築。</li> <li>⑤社員への教育、適切な指示。</li> <li>⑥問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> <li>⑦経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>②環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>③問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> <li>④環境経営システムの実施状況の代表者への報告。</li> </ul>
エコアクション担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境管理責任者の補佐、エコアクション21の事務局。</li> <li>②環境目標、環境活動計画書原案の作成。</li> <li>③環境活動チェック表等の実績集計。</li> <li>④環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>⑤問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> <li>⑥所管事項について環境経営システムを実施し、維持する。</li> </ul>
各部門責任者及び現場責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営方針の部内への周知。</li> <li>②教育訓練の実施。</li> <li>③環境活動計画の実施及び達成状況の報告。</li> <li>④緊急事態への対応のための手順書作成テスト、訓練実施、記録の作成。</li> <li>⑤問題点の発見、是正、予防処置の実施。</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>①環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。</li> <li>②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> <li>③環境へ対する意識の向上。</li> <li>④環境経営方針の周知。</li> </ul>

環境目標設定書(令和2年度～令和4年度)

会社名:株式会社根城グリーン建設  
(全社)

コア指標	環境方針	環境目標項目	責任部門	責任者	削減率又は増加率(%)	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加)率)			中長期の目標 R2年度～ R4年度
							R2年度	R3年度	R4年度	
					単位	基準値				
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	2	3	3
					kwh	12,305	12,059	12,059	11,936	11,936
		灯油の削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	2	3	3
					L	1,853	1,816	1,816	1,797	1,797
		A重油の削減			削減率(%)	H28年度	-	-	-	-
					L	0	0	0	0	0
		都市ガスの削減			削減率(%)	H28年度	-	-	-	-
					Nrd	0	0	0	0	0
	LNGの削減			削減率(%)	H28年度	-	-	-	-	
				kg	0	0	0	0	0	
		LPGの削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	2	3	3
				kg	381	373	373	370	370	
		ガソリンの削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	2	3	3
				L	33,583	32,911	32,911	32,576	32,576	
		軽油の削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	2	3	3
				L	35,867	35,150	35,150	34,791	34,791	
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	2	3	3
				kgCO <sub>2</sub>	184,696	179,884	179,884	178,048	178,048	
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	1	2	3	3
					kg	1,240	1,228	1,215	1,203	1,203
	建設副産物の再資源化の推進	最終処分量の削減	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	2	4	6	6
				t	3.15	3.08	3.02	2.96	2.96	
		再資源化率の増加	管理部	中道	再資源化率(%)	H28年度	1	2	2	2
				(%)	95	96	98	100	100	
排水水量	節水	節水	管理部	中道	目標相当	H28年度	2	2	3	3
						m <sup>3</sup>	558	547	547	541
化学物質		化学物質の管理推進	管理部	中道	削減率(%)	H28年度	化学物質の適正な管理・確認に努めます。			左記に同じ
					kg	-				
グリーン購入	グリーン購入の推進	再生資材、事務用品等環境配慮製品の使用推進	管理部	中道	品目数	H28年度	2	2	2	2
						12	14	16	18	18
自らが施工・販売・提供する製品及びサービスに関する項目	環境保全に配慮した事業活動	環境配慮型施工等の推進	管理部	中道	件数	H28年度	1	2	3	3
						13	15	17	19	19
地域貢献	地域貢献活動の推進	清掃活動等	管理部	中道	件数	H28年度	2	2	2	2
						5	7	9	11	11

今年度重点目標

重点項目まとめ

- ・ 電力の削減
- ・ ガソリンの削減
- ・ 節水

取り組み内容

社内の照明は間引き点灯するように心がけ、使用しないすべての電気機器はコンセントから抜くようにするエコドライブを実施するために、先行車との間隔が2台分開くように発進し、徐々に加速するよう心掛ける  
植物の水やりは出来るだけ雨水を利用できるように水路を設置したりするように貯水設備も整える

※年間を通しての重点項目を一年ごとに決めて取り組み今後の糧にしていくようにする※

## 環境目標の実績

環境目標の達成状況の確認・評価をしましたので、エコアクション21の令和4年度の実績について報告します。

今年度の二酸化炭素排出量の増加については、業績好調による社屋の増築・資材置き場の増加や受注量の増加に伴う車両台数の増車等によるものです。（下表参照）

項目によっては未達成の項目もあり、次年度以降への新たな目標ができました。

社員一人ひとりの認識が高まり、社内全体の意識の向上も実感しています。

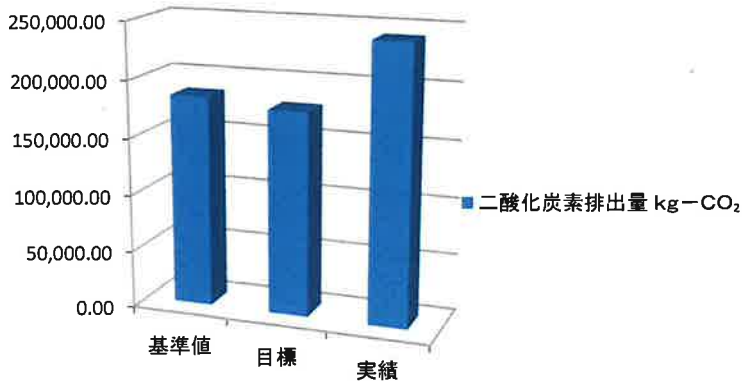
次年度以降の目標値を改めて設定し、社員一丸となって改善の取組に努める所存です。

表3-1 当該年度の環境目標の達成状況等（事務所+建設現場）

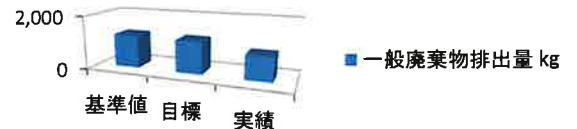
二酸化炭素排出係数 = 2019年東北電力0.521kg-CO<sub>2</sub>/使用

項目	単位	基準値 <small>(平成28年9月～平成29年8月)</small>	令和4年度			環境目標の達成状況
			削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
1. 二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	184,696.06	3%削減	178,048.00	240,974.67	×
電力使用量	kwh	12,305.00	3%削減	11,936.00	23,263.00	×
灯油使用量	L	1,853.00	3%削減	1,797.00	1,446.00	○
LPG使用量	kg	381.00	3%削減	370.00	674.80	×
ガソリン使用量	L	33,583.00	3%削減	32,576.00	44,421.30	×
軽油使用量	L	35,867.00	3%削減	34,791.00	45,851.43	×
2. 一般廃棄物排出量	kg	1,240.00	3%削減	1,203.00	877.00	○
3. 産業廃棄物排出量(自社分)	t	3.15	6%削減	2.96	2.45	○
4. 総排水量(水資源投入量)	m <sup>3</sup>	558.00	3%削減	541.00	383.42	○
5. グリーン購入(環境物品購入)	品目数	12	+2	18	16	×
6. 自らが施工・販売・提供する製品及びサービス	建設リサイクル率	%	2%増加	100	99	×
	環境に配慮した施工に関する項目	件数	+3	19	17	×
7. 地域貢献活動	件数	5	+2	11	9	×

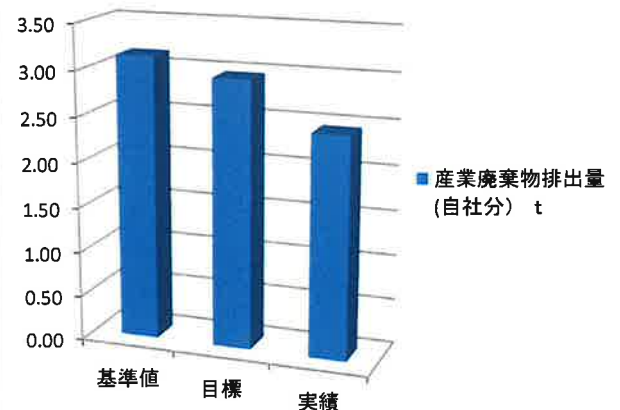
二酸化炭素排出量 kg-CO<sub>2</sub>



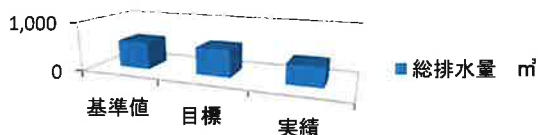
一般廃棄物排出量 kg



産業廃棄物排出量(自社分) t



総排水量 m<sup>3</sup>



## 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の目標・取組内容

※環境活動計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容（達成手段）を表4のとおり作成した。

なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な取組に努めております。

※会議・朝礼で呼びかけた結果が出ていてとてもよかったと思う。すでにさまざまな課題が出てきてはいるが、すべて前向きに捉えることができるものと感じております。今後も社内教育を始め、呼びかけの強化をし、より良い環境作りの為に取組んでいきたいと考えております。

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組み結果	次年度の目標・取組内容
二酸化炭素排出量削減	電力の二酸化炭素の削減	①事務室等の屋休み残業時不必要な時は消灯している	○	冷房温度の28℃、クールビズウォームビズは、定着しつつあり、環境目標達成につながった。また、必要以外の照明機器の節電に心掛けた。 前年度目標の自然エネルギー導入までには至らなかった。	電力使用量 (kWh) 基準値 23,263 削減率 2% 目標値 22,798  前年度引き続き自然エネルギー等の導入を検討して行く。
		②ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯している			
		③パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている			
④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している					
⑤空調機器の適温化（冷房28℃）を徹底している					
建設機械等の燃料の二酸化炭素削減	建設機械等の燃料の二酸化炭素削減	①エコドライブ等運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐停車中のエンジン停止等）を励行している	○	エコドライブ、アイドリングストップを徹底する。 なお、必要時は手順書を作成し、社員に徹底させた。	ガソリン使用量 (L) 基準値 44,421 削減率 2% 目標値 43,553  軽油使用量 (L) 基準値 45,851 削減率 2% 目標値 44,934  ハイブリットや、低排出ガス機の重機の選定に力を入れる。
		②タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值（メーカー指定の空気圧）を保つように努めている			
		③排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車輛整備を行っている			
灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	①暖房温度（暖房20度程度）の設定管理を徹底している	○	事務所や、現場での使用量が多く、現場での作業の効率化や呼びかけの取組を強化できた。 また、ブラインドの導入もできた。	灯油使用量 (L) 基準値 1,446 削減率 2% 目標値 1,403  LPG使用量 (kg) 基準値 674 削減率 2% 目標値 661  CO <sub>2</sub> 排出量 (kgCO <sub>2</sub> ) 基準値 240,976 削減率 2% 目標値 236,120  暖房機器の使用頻度を考え、個々の意識の向上を会議等で指示する。
		②冬季における重ね着等服装の工夫（ウォームビズ）をして、暖房の使用を抑える			
		③暖房を必要な区域・時間に限定して使用する			
		④ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調節している			
廃棄物排出量削減	廃棄物の発生抑制	①使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入り弁当等）の使用や購入を抑制している	○	活動内容等の社内掲示、指導により意識啓発は促進されている。	一般廃棄物排出量 (kg) 基準値 877 削減率 3% 目標値 851
		②裏紙を使用し、ごみの発生を抑制する			
		③再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入			
		④詰め替え可能な製品の利用や備品等の修理により、製品等の長期使用を進めている			
		⑤OA機器等の故障時には、修理可能かどうかチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている			
リサイクルの促進	リサイクルの促進	①再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等を購入している	○	建設現場において建設副産物のリサイクル、再生材料の使用の取組がの推進されている。	建設リサイクル率 (%) 基準値 99 増加率 - 目標値 99  建設リサイクル推進を継続する。
		②環境ラベル認定製品等を優先的に購入している			
		③省エネルギー基準適合品を購入している			



		④再生材料から作られた製品等を優先的に購入、使用している			
	産業廃棄物等の適正処理	①廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行っている。 ②廃棄物の最終処分先を定期的に、直接、確認している ③発生する廃棄物混合廃棄物を分解等して分別し、リユース、リサイクルしている	○	処理業者、処理方法の確認等により適正処理が推進されている。	
水 使用 量 削減	節水	①処理工程で使用する水を再利用するための設備を設置し、活用している（中水使用） ②手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している ③節水呼び掛け・貼り紙 ④水道配管からの漏水がないか定期的に点検・確認している	○	活動内容等の社内掲示等により活動の推進に努めている。	水使用量（m3） 基準値 383 削減率 2% 目標値 376  日常の水使用に関する意識啓発に努め使用抑制に取り組む。
	排水処理	①水質汚濁の少ないプロセスや機器（廃液の回収・再利用等）を採用している ②生ごみ等ができるだけ混入しないようにしている	○	活動内容等の社内掲示等により活動の推進に努めている。	
生活環境保全の取組		①悪臭防止のため排出口の位置等の配慮を行っている	○	設計段階から話に加わった。	継続する。
化学物質の管理推進		①有害性の化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録・管理している。 ②屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる	○	使用頻度、使用量もそれほど高くなく、適正に管理していることを定期的に確認するなどの維持管理を行った。	化学物質使用量の目標 化学物質を適正に管理し、定期的に確認する。  化学物質を適正に管理していることを定期的に確認するなどの維持管理を継続する。
グリーン購入	環境に配慮した物品等の購入、使用等	①環境ラベル認定品などを優先的に購入している ②再生材料から作られた製品等を優先的に購入、使用している ③再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の産廃資材等を購入している	○	使用商品に関する検討、選択が推進されている。	使用、購入商品等の原材料、製造方法の確認を推進する。
環境に配慮した施工の推進		①土砂が飛散しないよう風向きを考慮する等環境に配慮して施工を行っている ②ダンプのタイヤの泥除去のため場内の道路は、砕石（鉄板）を敷設している ③環境配慮型工法や環境配慮型施工を提案している ④住宅街の時は時間の配慮に気を付ける ⑤民間をはじめ植栽活動に力を入れる ⑥緑化活動のすばらしさを会社を通して伝えていく	○	自社による見直しをした結果、工程会議を行い施工方法を工夫したりしている。	環境に配慮した施工の目標 環境負荷の少ない工法を提案や採用する。
環境コミュニケーション 社会貢献 その他		①排出者等に対して情報提供や啓発活動を行っている ②事務所等周辺の景観や生物多様性保全に取り組んでいる ③地域のボランティア活動等に参加し、協力や支援を行っている	○	さまざまな活動への取り組み強化が必要。	地域貢献活動（件） 基準値 9 増加率 目標値 10  社内での検討を進め取組の内容について具体化を進めて行く。

○：評価出来る、△：まずまず評価できる、×：評価できない

# 『根城グリーン建設各活動の様子①』



小学校外  
草刈り作業



ボランティア活動

ボランティア  
清掃活動状況！！



車両・重機の選定

排ガス適合車  
超低騒音型



樹木移動式破砕車



ソーラー  
機器の選定



# 『根城グリーン建設各活動の様子②』



エコアクション  
勉強会

社内教育講習（省エネ・オフロード法）

避難訓練の一コマ  
事務所内設備



現場事務所内常備



火災訓練実施状況



現場事務所内  
掲示物・常備資料



現場事務所掲示物



エコドライブ  
実施状況



必要箇所以外節電



ゴミの分別

# 『根城グリーン建設各活動の様子③』

こまめに節電！



事務所内  
掲示物

再生資源を  
積極的に採用！



トイレからも  
出来ること！！



5s の徹底

## ■グリーン購入とエコマーク

環境物品等の調達に関する重要事項において、第三者機関による環境ラベル（タイプ1）の情報を十分に活用することを求めている。環境ラベルの具体例の中にエコマークが挙げられている。グリーン購入法に添付の冊子が定める基本方針（平成27年2月）より

エコマーク

- ライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つこと
- マルチプライチア評価を採用
- 商品だけでなく、小売店舗、ホテル・旅館、カーシェアリング、損害保険、乳幼児商品等サービスにも対象範囲を拡げている。

## グリーン 購入

まずは整理・

## 5 S 活動

SEIRI <b>整理</b> 作業現場の仕事を効率的に遂行し、不要品を削減する。	SEITON <b>整頓</b> 決められた場所を決められた方法で、いつでも取り出しやすいようにする。	SEISO <b>清掃</b> 作業現場を清潔に保ち、安全・健康を確保する。	SEIKETSU <b>清潔</b> 作業現場を清潔に保ち、安全・健康を確保する。	SHITSUKE <b>躰</b> 作業現場を清潔に保ち、安全・健康を確保する。
---	---	--	---	--

## eco現場宣言。

～(株)根城グリーン建設は工事現場での環境負荷軽減にチカラをいれて取り組んでまいります～



建設副産物のリサイクルを進めます。

生態系の維持に努めます。

CO2を強力出さない施工で工事を進めます。

## 『環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価 並びに違反、訴訟等の有無』

---

・環境関連法規等について一覧表に取りまとめ、遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。  
住民等からの苦情もありませんでした。

特に該当する環境関連法規(抜粋)

1. 悪臭・騒音・振動では、悪臭防止法・騒音規制法・振動規制法について各法律に基づき違反なし。
2. 廃棄物・リサイクルでは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律や建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律などについて  
廃清法や建設リサイクル法に基づき違反なし。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、苦情、訴訟について、問題ありません。

・今後もこのように、違反及び、苦情のないよう、現場を円滑に進めていけるよう取組んで参ります。

## 『代表者による全体評価と見直しの結果』

---

・エコアクションに取組み年を重ねる結果、従業員の環境保全に対する意識の向上がより図られました。  
そして更に、従業員のエコに対する意識が高まってきていることが実感でき、本当にうれしく思います。  
今年度も引き続きではありますが、ロシアによるウクライナ侵攻やハマス・イスラエル間の攻撃等により  
世界経済に打撃を受け、燃料・灯油・電力などの高騰等が引き続いてます。  
当社としても例外ではなく、昨年同様にCO2の増加につながっています。  
エコアクションを通して、表を作成することで目に見える形として結果がついてきている今だからこそ  
気を緩めることなく、目標は常に高く持ち続け諦めずに取組んでいきます。

・もう一つの目標として、他社には出来ない造園業を通じて、緑のすばらしさを実感していただく為地域  
住民の方々とも協力しながら、地域の緑化・植栽、自然との共生と調和を大切にしていきたいです。  
取組みはまだ試行錯誤の中ではありますが、社員一人ひとりが地球環境を守るということを考えていき  
地球環境と事業活動との密接な関わりにあることを理解と認識に繋げていきたい。  
今後は、目標を高く持ち活動の継続に力を入れていきたいと思っております。